

平成 29 年度	市立ひらかた病院の取り組み実績
	<部の構成> 診療局、看護局、薬剤部、医療安全管理室、医療相談・連携室、 事務局（経営管理室総務課、経営管理室経営企画課、医事課）

1. 重点施策・事業

(1) 市立ひらかた病院改革プランに基づく病院経営の健全化	
目標	平成 29 年 3 月に策定した『市立ひらかた病院改革プラン（第 2 次中期経営計画）』において、「収支改善」「経費削減」「収入確保」「経営の安定性」のそれぞれの観点から設定した各目標数値の達成に向けた取り組みを進めることで、持続可能な経営基盤を構築するための経営改善に努めます。
取り組み	<p>① 救急搬送患者の積極的受け入れ 救急医療及び小児二次救急医療は本院の重要な役割であり、救急搬送患者を積極的に受け入れます。</p> <p>② 医師等の人材の確保による収益力の向上 不足する診療科の医師及び専門的資格を持つ看護師、リハビリテーション技師の確保等により、収益力の向上を図ります。</p> <p>③ 病院機能の強化 紹介率・逆紹介率等の要件を満たし、地域医療支援病院の承認取得をめざします。また、医師や地域連携スタッフが積極的に地域の医療機関を訪問するなど、連携強化に取り組むとともに、中核病院と地域の医療機関が患者情報を共有できる「地域医療連携システム」の会員拡大に努め、紹介患者及び紹介率の向上をめざします。</p> <p>④ 情報発信の強化 市民公開講座やオープンセミナーなどの開催とともに、ホームページや広報のほか、様々な媒体による健康や医療に関する情報提供に努めます。</p> <p>⑤ 患者負担額の見直し 緩和ケア病棟において他の病棟の室料差額との整合を図るとともに、紹介状を持たない初診患者にかかる非紹介患者初診料加算金を見直します。</p>
実績	<p>① 救急搬送応需率の目標を 80%と設定し、積極的に救急搬送患者の受け入れを行ったところ 84.7%と達成することができました。</p> <p>② 医師 3 名やリハビリテーション技師 1 名などの採用を行い、増員することにより、収益力の向上に努めました。</p> <p>③ 地域医療支援病院の承認取得に向けて、地域の医療機関への訪問をこれまで以上に</p>

	<p>積極的に行うなど、紹介率・逆紹介率の向上に努めました。</p> <p>④ 市民公開講座やオープンセミナーなどを開催するとともに、ホームページや広報等を活用し、積極的に情報提供を行いました。</p> <p>⑤ 平成 29 年 4 月 1 日付けで、緩和ケア個室の室料差額を、他の病棟における室料差額との整合が図られるよう改定するとともに、紹介状を持たない初診患者に係る非紹介患者初診料加算金を 2 千円から 3 千円に改定しました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
10. 病院事業会計の経営健全化	<p>病床利用率 80%を達成します。(平成 29 年度)</p> <p>病床利用率 85%を達成します。(平成 30 年度以降)</p> <p>以上により、医業収益において平成 27 年度 (決算見込)比で 4 年間 (平成 28 年度～平成 31 年度) 合計約 31 億円の増収をめざします。</p>
実績	<p>「市立ひらかた病院改革プラン」(第 2 次中期経営計画)に示した、本院の役割を踏まえた経営の効率化を行うため、経営指標の目標を設定し、その目標達成に向けた取り組みを行いました。</p> <p>地域連携の更なる強化、地域医療支援病院の承認取得に向けた紹介率・逆紹介率の向上、有料個室の料金設定の見直しなどの収益増加に取り組むことにあわせ、費用縮減については、材料費抑制のために調達方法の検討を行うことや委託業務の仕様見直し等を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 △ 】

改革課題	取り組み内容・目標
33. 公立病院改革の推進	平成 29 年 3 月に策定した、「市立ひらかた病院改革プラン」に基づき、経営改善に取り組めます。
実績	「市立ひらかた病院改革プラン」において示した本院の役割を踏まえ、経営の効率化と数値目標達成に向けた様々な取り組みを行い経営改善に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 △ 】

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
病床利用率の向上	80%以上
実績	平成 29 年度の一般病床利用率については 72.7%で、目標である 80%は達成できませんでした。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
紹介率等の向上	紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上
実績	実績値は、紹介率 50.5%、逆紹介率 74.9%でした。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
医療事故の発生防止	医療事故の発生件数 0 件
実績	平成 29 年度の医療事故の発生はなく、安全で適切な医療の提供を行うことができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

◆建物総合管理委託について、業務内容の見直しを行い、経費を縮減します。

実績	中央監視室管理業務の項目及び各種点検業務の見直しを図り、5% (1,269 万 7,000 円) の経費を削減することができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆昨年度に引き続き、「大阪府新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備事業補助金（国庫補助事業）等、各種補助制度の積極的な活用を図り、財源の確保に努めます。

実績	新たに「大阪府がん診療施設設備整備事業補助金」を活用し、がん診療に有効な医療機器の整備を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

4. 組織運営・人材育成

◆昨年度に引き続き、医師についても、職務の遂行にあたっての業務の達成度や期待される能力を評価する人事評価制度を実施し、処遇に公正な形で反映します。また、この結果を活用し、能力の開発等の人材育成や働きがいのある職場作りに努めます。

実績	平成 29 年度より、医師における人事評価制度を本格的に実施しました。今後は平成 29 年度の評価結果を平成 30 年度の給与へ適切に反映させることで、さらなるモチベーションの向上や組織の活性化を図ります。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆各領域・各職種における提供医療や提供サービスの充実に必要な知識の習得を支援するとともに、積極的に院内院外の研修にも取り組み、人材育成に努めます。

実績	職員に加え、委託業者も含めた病院の全勤務者を対象とした医療安全研修や感染防止対策研修等を実施するとともに、大阪府看護協会や検査技師会等が主催する外部研修にも職員が積極的に参加しました。また、大阪府がん診療拠点病院として、院内院外のがん診療に携わる医師・医療従事者を対象とした「緩和ケア研修会」を実施するなど、職員の専門性や人材育成の強化に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆市域における「災害医療センター」として、災害時において迅速かつ適切な医療救急活動を担う使命を果たすため、年 2 回の災害訓練を実施し、職員の危機管理対応能力の向上に努めるとともに、体制の整備を図ります。

実績	管理に対する意識やスキルの向上を図るため、災害医療体制の立ち上げ訓練や火災消火訓練、また、疾病者の治療の優先度を判定するトリアージ訓練等による災害医療訓練を 2 度実施しました。 今後も継続的に災害訓練を実施することで、さらなる災害医療体制の充実に努めます。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆平成 29 年 4 月に病院ホームページを全面リニューアルするほか、院内情報モニター、病院広報誌「かわせみ」、院内掲示、広報ひらかた等様々な媒体を活用した情報発信を強化します。

実績	住民の皆様から愛され、選ばれる病院となるよう、院内の広報委員会を再整備し、本院の魅力や診療活動等について積極的な情報発信に努めました。 主な活動として、病院ホームページを全面的にリニューアルするとともに、そこに住民目線で興味を持ってもらえるよう、新たなコーナーを設けるなど内容の充実に努めました。また、住民の皆様から、より親しみを持ってもらうとともに、地域の活性化に資するため、近隣に位置する関西外国語大学との共同によるイベントを開催するなど、本院のイメージアップに取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	